

沼津市一般廃棄物処理基本計画改定（案）に関する意見募集の結果について

○パブリックコメントの実施状況

- ・実施時期：令和5年10月23日（木）～令和5年11月24日（金）
- ・提出者数：1名
- ・意見数：51件
- ・提出方法：電子メール1通

○提出された意見の内容及び市の考え方

沼津市一般廃棄物処理基本計画改定（案）パブリックコメント				
番号	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
1	2	「図1-1-1 本計画の位置づけ」において、「沼津市一般廃棄物処理基本計画（A）」と「第5次沼津市総合計画、第2次沼津市環境基本計画（B）」を横並びで表示していますが、1ページにAはBの下位計画として、との記載があることから、本図中の表示も、Bの下にAを表示（左右ではなく、上下に）したほうがいいのではないのでしょうか。	「第5次沼津市総合計画」、「第2次沼津市環境基本計画」は上位計画にあたるため、図の記載を修正する。	有
2	3	「表1-1-1 沼津市の清掃事業の沿革」において、動向の「資源回収の日」の一部の品目（缶類、ペットボトル、乾電池）について、収集業務委託を開始」に対応する年月が「平成28年3月」と「平成30年4月」の2つありますが、開始年月なので1つではないのでしょうか。	「資源回収の日」の一部の品目（缶類、ペットボトル、乾電池）について、収集業務委託を開始」を「平成30年4月」に修正。（一段ずつずれていたため、修正）	有
3	8	「図1-2-5 地目別面積（平成31年）」において、「面積：186.96km ³ 」となっていますが、面積なので「km ² 」が正しいと思います。	面積のため「km ² 」に修正。	有
4	12	「表2-1-2 収集運搬の体制」において、区分「家庭系ごみ 埋め立てごみの日」のうち「焼却粗大ごみ」の排出方法欄中に、11ページと同様に、「②類」の表記を入れたほうがより分かりやすいと考えます。	分かりやすくするため、「 焼却粗大ごみ(②類) 」を追記する。	有
5	13	本文中下から5行目「リサイクルのさらなる推進と最終処分量を削減するため」とあります。「と」の前後の二つのものが並列で「ため」にかからないといけないのですが、「推進（名詞）」と「削減する（動詞）」では並列になりません。そこで、例えば「リサイクルのさらなる推進と最終処分量の削減を図るため」としてはいかがでしょうか。	「推進（名詞）」と「削減（名詞）」を並列し記載するため、「～さらなる推進と最終処分量の 削減を図る ため」に修正する。	有
6	19	「表2-1-10 廃食油回収の実績」において、令和元年度実績が前年度と比較して大幅に減少している理由は何でしょうか？ また、これだけの大幅な減少があった場合には、例えば、表の下部に、補足説明として減少理由の記載があってもいいのではないのでしょうか。	回収方法の見直し及び回収拠点の減少によるものである。今回の改正に関わる部分ではないため、減少理由は記載しないこととする。	無
7	20	本文3行目「外部専門業者で金属類を回収する」とありますが、「で」は適切ではないと思います。そこで、「専門業者が」または「専門業者により」としてはどうでしょうか。	「 専門業者が 」に修正する。	有
8	23	「表2-1-16 埋め立てごみ処分量」中、「再処理施設 処理量 搬入」の令和元年度実績が前年度と比較して大幅に減少している理由は何でしょうか？ また、これだけの大幅な減少があった場合には、例えば、表の下部に、補足説明として減少理由の記載があってもいいのではないのでしょうか。	市民の分別・減量意識の向上に伴い減少としたものと推測される。今回の改正に関わる部分ではないため、減少理由は記載しないこととする。	無

番号	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
9	23	「表2-1-17 埋め立てごみ搬入量」中、「直営収集」の令和元年度実績が前年度と比較して大幅に減少している理由は何でしょうか？ また、これだけの大幅な減少があった場合には、例えば、表の下部に、補足説明として減少理由の記載があってもいいのではないのでしょうか。	市民の分別・減量意識の向上に伴い減少としたものと推測される。 今回の改正に関わる部分ではないため、減少理由は記載しないこととする。	無
10	27	見出しが「ごみ処理に係る財政及び処理経費」とあり、「財政」と「処理経費」の2項目が「及び」でつながっています。文章・表・図いずれも「ごみ処理経費」に関する内容になっています。では、ここでいう「財政」とは、「ごみ処理経費」以外の何を指しているのでしょうか？ 「財政及び」を削り、「ごみ処理に係る処理経費」でいいのではないのでしょうか。	見出しを「ごみ処理に係る 処理経費 」に修正する。	有
11		経費については決算ベースの数値を使用していると推測しますが、（一般会計の金額も含め）決算数値であることを明確に示すべきと考えます。	今回の改正に関わる部分ではないため、次回の計画策定時の参考にさせていただくこととする。	無
12	28	見出し及び表タイトルにおいて「全国及び静岡県との比較」と表記している一方で、本文中の2箇所では「全国及び県内と比較」と記載しています。本文中の表記も「静岡県」に変更して統一した方がいいと考えます。	統一した表現にするため、「県内」を「 静岡県 」に修正する。	有
13	30	本文中、令和元年度の数値を平成21年度と比較する際の表記として、3つめの段落では「平成21年度から」、4つめの段落では「平成21年度より」となっています。「から」と「より」の両方とも間違いではありませんが、いずれかに統一したほうがいいのではないのでしょうか？	統一した表現にするため、4段落目を「平成21年度 から 」に統一する。（他に、P13、P15、P18、P20も統一表現に修正する）	有
14		「表2-1-22 数値目標の達成状況」中、「目標値」となっていますが、目標値の対象年度を明確にする意味でも、「目標値」の下の行に（令和2年度）と記載するなどしたほうがより分かりやすいと思います。	表の表記の統一性を考慮し、「目標値」上段に 令和2年度 と記載する。	有
15		「表2-1-23 一般廃棄物に係る法律の改正等の状況」中、「年月」については、「公布日」なのか「施行日」なのかを明記すべきと考えます。	分かりやすくするため、「年月」を「 施行日 」、「法律名」を「 法律名等 」に修正する。	有
16		表のタイトルは「改正等」でいいと思いますが、表中において、法律ごとに、「新規制定」なのか「改正」なのかを明記すべきと考えます。	分かりやすくするため、法律名等の後に新規制定等を追記することとし、「 小型家電リサイクル法（新規制定） 」、「 廃棄物処理法及び災害対策基本法（一部改正） 」、「 食品リサイクル法に基づく新たな基本方針（公表） 」、「 食品ロス削減推進法（新規制定） 」、「 プラスチック資源循環促進法（新規制定） 」とする。	有
17	31	小型家電リサイクル法の概要欄末尾の表記が「特例等について定められた」となっていますが、これだと具体的な内容も記載しないとならぬ＜特例等について〇〇〇が定められた＞と思うので、次の廃棄物処理法等の表記と同じように、「特例等が定められた」でいいのではないのでしょうか。	統一した表現にするため、「特例等 が 定められた」に修正する。	有
18		食品リサイクル法の概要欄末尾の表記が「目標を新たに設定された」となっていますが、「目標を」とした場合には「設定した」とすべきです。そこで、廃棄物処理法等の表記と同じように、「目標が新たに設定された」に改めたほうがいいのではないのでしょうか。	統一した表現にするため、「目標 が 新たに設定された」に修正する。	有

番号	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
19		【発生抑制】 1つ目の段落中「燃やすごみの5割を」とありますが、約5割としたほうがいいのではないのでしょうか。	表2-1-20より、紙類・布類が約5割占めていると判断できるため、「約5割」に修正する。	有
20		3つめの段落中「事業系ごみの増加傾向が続いているため、事業者向けの周知や（中略）を図る必要があります」とありますが、この書き方だと事業者向けに周知する内容は「事業系ごみが増加傾向にあるという現状」になると思います。事業者向けに周知する内容は、「事業者として何か取り組んでほしいこと」ではなく、「現状」であるということではないのですか。	分かりやすくするため、「事業系ごみの増加傾向が続いているため、事業者に向けて、廃棄物の減量・発生抑制の促進を図る必要があります。」に修正する。	有
21	32	最後の段落中「事業者が、地域のごみ集積場所へ排出することがないよう」と記載されています。この書き方だと、事業者は一切地域の集積場所に出せないことになりませんが、一方で、11ページでは「少量排出事業者は、集積場所の管理者の承認を得て、集積場所へ排出し、市の収集を受けることができる」との記載があり、矛盾が生じています。そこで、例えば「事業者（承認を受けた少量排出事業者を除く）が、地域のごみ集積場所へ」など一部特例があることを記載したほうがいいのではないのでしょうか。	誤解を招かないよう、「事業者（承認を受けた少量排出事業者を除く）」と追記する。	有
22		【中間処理】 「清掃プラントは、（中略）評価されています。また、清掃プラントについては、昭和51年10月の竣工から（以下省略）」となっていますが、主語は、いずれも「清掃プラント」になることから、下線部の「清掃プラントについては、」はいらないのではないのでしょうか。	主語は、いずれも「清掃プラント」になることから、「清掃プラントについては、」は削除する。	有
23		【その他】 2つめの段落中「平成29年3月に南海トラフ地震等で（中略）迅速に対応するため、「沼津市災害廃棄物処理計画」を策定していますが、（以下省略）」とあります。上記計画を策定したのが平成29年3月ということだと思うので、「平成29年3月に」の位置は、「南海トラフ地震等で（中略）迅速に対応するため、平成29年3月に「沼津市災害廃棄物処理計画」を策定していますが、（以下省略）」のように計画名の直前のほうがいいのではないのでしょうか。	分かりやすくするため、「南海トラフ巨大地震等で発生が想定される災害廃棄物の処理に迅速に対応するため、平成29年3月に「沼津市災害廃棄物処理計画」を策定していますが」に修正する。	有
24	33	「一般廃棄物処理基本計画（ごみ）の方針」の枠中、【災害廃棄物処理計画】に係る記載において「復旧、復興の妨げ」となっています。「沼津市災害廃棄物処理計画」1ページ「1 基本的事項 (1)背景及び目的」の文章をそのまま引用するのであれば「復旧・復興の妨げ」が正しいです（「、」ではなく「・（中点）」）。	統一した記載にするため、「復旧・復興の妨げ」に修正する。	有
25		1つ目の段落中「ごみ発生量の削減に努めた事業活動を行う」とありますが、「努めた」だと過去形の表現になってしまうので、例えば、「寄与する」あるいは「向けた」等の表現にしたいかがでしょうか。	期待される取組であるため、過去形ではなく、未来に向けた表現がふさわしいため、「ごみ発生量の削減に寄与する事業活動を行う」に修正する。	有
26	34	枠内の記載中「3者の役割が円滑に進む処理システムを構築する」とありますが、役割は進むものではないと思います。そこで、例えば、「3者の役割が円滑に果たされる処理システムを構築する」ではいかがでしょうか。	分かりやすい表現にするため、「3者の役割が円滑に果たされる処理システム」に修正する。	有
27		2つ目の段落中「市民、事業者及び行政との3者間における」とありますが、3者間なので「と」は削除すべきと考えます。	市民、事業者、行政の3者間なので、「市民、事業者及び行政の3者間における」に修正する。	有

番号	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
28	35	本文3行目に「令和12年度のごみの種別の排出量は」とありますが、「種別」のほうが適切かと考えます(36ページの図2-2-3のタイトルも「種別排出量」となっています)。	統一した表現にするため、「令和12年度のごみの 種別 の排出量は、」に修正する。	有
29	37	「表2-2-1 ごみ排出量の実績及び将来推計(現状維持)」における1番下の行に「資源化率」の項目がありますが、23ページの「表2-1-16」と同じように、資源化率がどのように算出されているのか、計算式の表示(①/②等)をしたほうが分かりやすいと考えます。	分かりやすくするため、表中に計算式の表示を記載する。	有
30		本文1行目に「各種施策を直実に実行することにより」とありますが、ここでは「直実(正直で誠実なこと)」という表現はふさわしくないと考えます。「着実に」のほうが適切かと考えます。	各種施策を確実に実行する必要があることから、「各種施策を 着実に 実行することにより」に修正する。	有
31	38	本文3行目・4行目に、令和12年度の数値目標の、対令和元年度比での記載として「14.5g減(-2.7ポイント減)の531.5g、(中略)1,247t減(-5.6ポイント減)の20,842t」とあります。それぞれg同士、t同士の比較であることから、()内の記載は、「(2.7%減)(5.6%減)」が正しいと考えます。	g同士、t同士の比較であることから、ポイントの表記から「令和元年度比14.5g減(-2.7%減)の531.5g、事業系ごみ排出量の数値目標は、令和元年度比1,247t減(-5.6%減)の20,842tとします。」に修正する。	有
32	40	「表2-2-3 ごみ排出量の実績及び将来推計(目標達成)」における1番下の行に「資源化率」の項目がありますが、23ページの「表2-1-16」と同じように、資源化率がどのように算出されているのか、計算式の表示(①/②等)をしたほうが分かりやすいと考えます。	分かりやすくするため、表中に計算式の表示を記載する。	有
33	41	基本理念直下の大項目に係る記載内容については、33ページの「一般廃棄物処理基本計画(ごみ)の方針」と完全一致するものと考えますが、「中間処理・最終処分計画」について見ると、33ページでは、「また最終処分場の延命化を図るとともに、新しい最終処分場の確保に努める」に対して、41ページでは、「また最終処分の延命化を図るとともに、新しい最終処分場の確保に務める」となっており、不整合が生じています。両ページの整合を図るべきと考えます。	P33とP41の整合を図るため、「また最終処分場の延命化を図るとともに、新しい最終処分場の確保に 努める 」に修正する。	有
34		「災害廃棄物処理計画」に係る記載において「復旧、復興の妨げ」となっています。「沼津市災害廃棄物処理計画」1ページ「1基本的事項(1)背景及び目的」の文章をそのまま引用するのであれば「復旧・復興の妨げ」が正しいです(「、」ではなく「・(中点)」)。	統一した記載にするため、「復旧・復興の妨げ」に修正する。	有
35	42	基本方針中1行目に「基準年度から家庭系ごみ2.7ポイント削減の1人1日当たりのごみ量531.5g、事業系ごみ5.6%削減年間20,842tを達成するため」とありますが、下線部は「基準年度から家庭系ごみ2.7%削減の1人1日当たりのごみ排出量531.5g、事業系ごみ5.6%削減の年間20,842tを達成するため」の方が適切(正しい)と考えます。	表現の整合と統一した表現にするため、「基準年度から家庭系ごみ2.7%削減の1人1日当たりのごみ 排出量 531.5g、事業系ごみ5.6%削減の年間20,842tを達成するため、」に修正する。	有
36	44	「①資源化推進活動奨励金」の本文中、「資源化推進活動奨励金」が2回出てきますが、ただし書き中に出てくる2回目の表記については、「資源化推進活動」を削り「奨励金」のみでいいと考えます(2行目末尾からの記載でも「奨励金」と略して記載しています)。	分かりやすい表現にするため、「ただし、ごみ排出方法の変更等が生じた場合は、 奨励金 の算出方法について、見直しを検討します。」に修正する。	有

番号	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
37	44	「③環境衛生自治推進協会や環境美化指導員への支援」の本文中、4行目に「引き続き支援します」とあります。一方で「①資源化推進活動奨励金」の本文中1行目では「引き続き」となっています。どちらも間違いではないと思いますが、どちらかに一本化したらいかがでしょうか。	統一した表現にするため、「…啓発グッズの配布等により、 引き続き 支援します。」に修正する。	有
38		本文3行目に「平成12年度から義務化した多量排出事業者への減量化計画の作成・提出を徹底し、計画書に基づくヒアリングや現地指導を行う」とあります。この文言では、義務化したものが何なのか分かりにくい、(市が)事業者に対して計画を提出するかのような表現である、徹底するのは事業者であり市としては徹底させる立場である、ことを勘案し、「平成12年度から義務化した多量排出事業者の減量化計画の作成・提出を徹底させ、計画書に基づく事業者へのヒアリングや現地指導を行う」としてはどうでしょうか。	市、事業者の役割を分かりやすい表現とするため、「平成12年度から義務化した多量排出事業者の減量化計画の作成・提出を徹底させ、計画書に基づく 事業者への ヒアリングや現地指導を行うとともに…」に修正する。	有
39	45	表題が「事業系ごみの適正管理・負担の推進」とありますが、ここでいう「負担の推進」とはどういう意味なのか理解できません。そもそも「負担」とは「費用負担」のことでしょうか、それとも別のもののでしょうか？また、日本語表記として「負担を推進する」という表現は見つけない（「負担軽減」ということはよく見かけますが）ことから、適切な表現について再度ご検討ください（→もし変更する場合には、41ページの表中の文言も合わせて変更してください）。	分かりやすい表現にするため、「事業系ごみの 適正な管理及び費用負担 」に修正する。	有
40		「②内容物調査の実施」の本文2行目で「受入基準」との記載がありますが、「①受け入れ基準の遵守」の見出し及び本文中では「受け入れ基準」となっています。一本化したほうがいいと考えます（もし、法令上でこの用語の使用例があれば、それに合わせる）。	統一した表現にするため、「受け入れ」に修正する。	有
41	47	本文1行目に記載のある「水平リサイクル」については、用語説明（どのようなものか）が必要ではないでしょうか。	分かりやすくするため、「 ※水平リサイクルとは、リサイクルの前と後で用途を変えない資源循環の方法です。 」と追記する。	有
42	48	本文2行目に「さらに令和2年度から落じん灰に含まれる金属類の回収を開始し、今後も継続して資源化に取り組みます」とありますが、この表記だと、これから開始するような書き方になっているので、「開始し、」を「開始しており、」としてはいかがでしょうか。	分かりやすい表現とするため、「さらに令和2年度から落じん灰に含まれる金属類の回収を開始して おり 、今後も…」と修正する。	有
43		本文2行目に「堆肥化の普及に努め、減量と肥料化を進めます」とありますが、見出しの「生ごみなどの資源化」との整合性を勘案すると、「肥料化」ではなく「資源化」が妥当なのではないでしょうか。	見出しとの整合を図るため、「…減量と 資源化 を進めます。」に修正する。	有
44	48	本文2行目に「粗大ごみの解体などが負担となっている」とありますが、どのような負担なのでしょう？ 経費がかかることによる財政的な負担なのか、解体作業にあたっての人的な負担なのか、それ以外なのか、この文章からは伝わってこないで、「負担の内容」について「(例)粗大ごみの解体などが〇〇〇〇負担となっている」のように追加記載ができないでしょうか。	分別するための解体作業の負担が大きいため、「…粗大ごみの解体など 分別作業 が負担となっている現状を踏まえ、…」に追記修正する。	有
45	49	本文において「周辺環境の配慮に努めます」とありますが、見出しと同じように「環境への配慮」に修正する必要があると考えます。	見出しとの整合を図るため、「… 周辺環境への 配慮に努めます。」に修正する。	有

番号	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
46		本文4行目に「本市の高齢者人口及び高齢化率は、今後も増加することが見込まれており」とありますが、人口は増加でいいのですが、高齢化率は、増加ではなく上昇という表現が妥当と考えます（【参考】令和5年版高齢社会白書（内閣府）P3「総人口が減少する中で65歳以上の者が増加することにより高齢化率は上昇を続け」）。修正案としては、（案1）「今後も増加・上昇する」とするのが簡単ですが、丁寧に記載するのであれば、（案2）「今後も、本市の高齢者人口は増加し、高齢化率は上昇することが」となるかと考えます。	分かりやすい表現とするため、「 今後も 本市の高齢者人口は 増加し 、高齢化率は 上昇する ことが見込まれており、…」と修正する。	有
47	49	本文6行目に「地域の中で、分別やごみ出しを支援する仕組みづくりについても検討します」とありますが、下線部の「、」は削った方がいいと考えます。この表記だと、支援する主体が不明確で「支援するのは行政側で、地域が検討する」という意味にとられかねません。「支援するのは地域（の中）で、その仕組みづくりを検討するのが行政側である」という意図であれば、「、」を削って続けて記載したほうがいいと考えます。	分かりやすい表現とするため、「地域の中 で 分別や…」に修正する。	有
48		「表2-2-4 現状の分別区分」は間違っています。11ページと同じ4区分で記載しなければならないはずですが、「資源回収の日」を除いた3区分となっていることに加えて、プラスチック製容器包装の日の内訳（括弧書き）として、資源回収の日の内訳（缶類、＜中略＞ ペットボトル）が記載されていますので、修正が必要です。	表中に、資源回収の日の記載を追記し、修正する。	有
49		本文3行目に「リサイクルの推進と埋め立て量の削減に努めます」とあります。現最終処分場の延命化のために、このリサイクルの推進と埋め立て量の削減を行おうとするものだと理解できますが、見出しに記載している「現最終処分場の延命化」をさらに鮮明にするため、「リサイクルの推進と埋め立て量の削減に努め、現最終処分場の延命化を図ります」としたらどうでしょうか。	分かりやすい表現とするため、「リサイクルの…削減に努め、 現最終処分場の延命化を図ります。 」に修正する。	有
50	51	見出し直下の枠内の記載において「復旧、復興の妨げ」となっていますが、「沼津市災害廃棄物処理計画」1ページ「1 基本的事項 (1)背景及び目的」の文章をそのまま引用するのであれば「復旧・復興の妨げ」が正しいです（「、」ではなく「・（中点）」）。このページの「(1)災害時の迅速な対応」の本文1行目では「復旧・復興の妨げ」となっており、同じページ内でも不整合が生じています。	統一した記載にするため、「復旧・復興の妨げ」に修正する。	有
51		各ページに掲載されている図（一部表を含む）の表示方法（年度の表示）について、再確認をお願いします	図1-2-1（P6）、図2-1-13（P30）、図2-2-1（P35）以外の表及び図に関しては、横軸の年度表示を省略せず、「〇〇年度」とした表記とする。	有